

平成29年度

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道		報告者: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 二口 繁					報告年月日: 2017/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の顔としての美しい沿道景観創り ・地域の思いを反映した景観づくりのためのルール設定 ・訪問者に満足してもらうための情報共有 	花壇整備プロジェクト	花壇整備	各町村(女性部など)	平成29年5月	参加人数: 230名程度	—	各町村の地域部会が主体となり、沿道の花壇整備を実施している。毎年実施されており、訪れる人々の目を楽しませている。
		清掃活動	—	—	—	—	—	—
		景観改善	—	—	—	—	—	—
		景観ポイント	—	—	—	—	—	—
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を盛り上げるイベントに取り組む ・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる ・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる 	シーニックカフェ	シーニックカフェ	南十勝夢街道	平成29年4月～平成30年3月(カフェにより期間異なる)	カフェ3箇所	—	シーニックカフェちゅうるいは軽音楽コンサートや無料コーヒー提供サービス等が好評である。今年度はクーポンを発行する等、新しい取り組みも含めて、今後も継続して続けていく。
		勉強会・研修会	—	—	—	—	—	—
		情報共有・情報発信	—	—	—	—	—	—
		地域連携	—	—	—	—	—	—
		地域連携	シーニックカフェスタンプラリー	南十勝夢街道	平成29年7月22日～9月30日	応募 17人(カフェ3箇所)	A — 3	シーニックカフェの充実化が図られたことから、連携して情報発信を行うため、ルート独自のシーニックカフェスタンプラリーを開催した。今後も新規登録場所を探しながら、継続的に開催していく予定である。
地域連携	北海道ガーデン街道との連携事業: 人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成29年4月～平成30年3月	主催者: 60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。今後も継続して実施していく予定である。		
		フォトコンテスト	南十勝夢街道フォトコンテスト	南十勝夢街道	募集: 平成29年6月20日～9月30日	応募288点	A — 2	認知度向上により管内はもとより、道外、道内から幅広い方から多くの応募があった。今後も継続して実施していく予定である。
			フォトコンテストカレンダー販売	南十勝夢街道	平成29年11月～平成30年1月	南十勝町村等11箇所販売		入賞作品をメインにカレンダーを制作し販売。今後も継続して実施していく予定である。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 二口 繁	報告年月日:2017/3/31
---------------------------	------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光資源を発見し有効活用する 人が集まる地域になるための情報発信 訪問者に満足してもらうための情報共有 「見る・遊ぶ・食べるの充実」 		フォトコンテスト巡回作品展(中札内、更別、忠類、大樹、広尾)	南十勝夢街道	平成29年8月～10月	南十勝5町村		前年度フォトコンテストの入賞作品について、各5会場において2週間の期間で展示を行い、南十勝の魅力を発信した。
			—	—	—	—	—	—
		イルミネーション	—	—	—	—	—	—
		観光資源発掘	学校シーニックバイウェイ	南十勝夢街道	平成29年10月3日(中札内)	小学校6年生35名	A — 1	中札内の小学校の生徒にSBWの取り組みを紹介するとともに、自分たちの地域の良いところを探してもらう授業を実施。
		モデルルート作成	—	—	—	—	—	—
		広報・PR活動	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、中札内小学校、上中札内小学校の6年生35名を対象に授業を実施した。

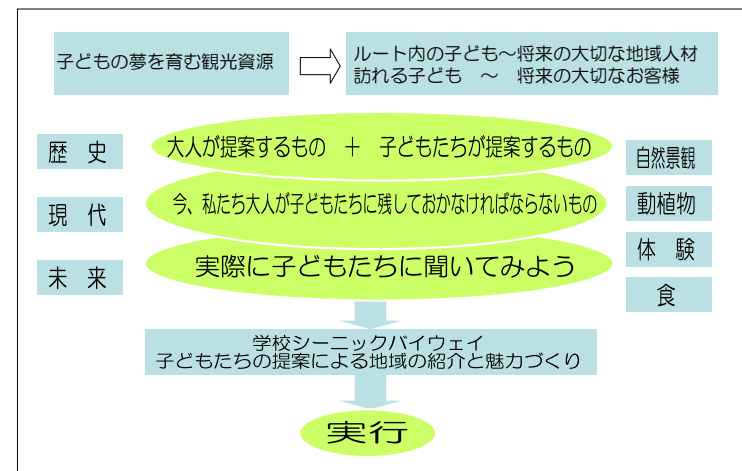
【日時】平成29年10月3日（火）

【場所】授業：中札内小学校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で12年目である。今年度は、昨年の応募者数80名を超える87名からの応募があり、過去最高の応募者数となった。管内だけではなく管外・道外からも多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いていることを実感した。

また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（5箇所：各2週間）を開催した。

フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから、継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：平成29年6月20日（火）～9月30日（土）

カレンダー販売：平成29年11月～平成30年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：87名 応募作品数：288点 カレンダー：1,500部作成



フォトコンテスト募集チラシ



2018年カレンダー



フォトコンテスト審査会



フォトコンテスト巡回作品展

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ3施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は3施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】平成29年7月22日（土）～9月30日（土）

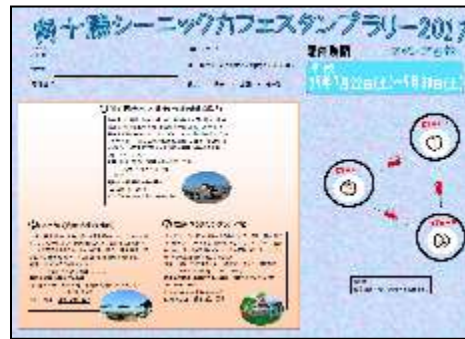
【参加施設】シーニックカフェ 3施設

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】完全性覇者：17名（十勝管内：13名、十勝管外：2名、北海道外：2名）



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい (忠類共栄牧場内)	幕別町忠類
広尾 (ひろおサンタランド内)	広尾町

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2017/3/31
---------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を盛り上げるイベントに取り組む ・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる ・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる 	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成29年4月～平成30年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光資源を発見し有効活用する ・人が集まる地域になるための情報発信 ・訪問者に満足してもらうための情報共有 ・「見る・遊ぶ・食べるの充実」 	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成29年7月～平成30年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、今年度は道の駅(3駅)においてもパネルの展示を行い十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		